

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけることができる。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	保育の意義 【知識及び技能】 ・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。 【思考力、判断力、表現力】 ・子どもの発達に応じた関わり方を学び、実践する。	保育園園長先生による講義 レポート作成 保育活動に向けた名札づくり	【知識・技能】 講義を聴き、保育園で実際に行われている保育活動を知る。 【思考・判断・表現】 保育者としてのかわり方を学び、集団保育の意義を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 手遊びや読み聞かせ、食育やけんかの仲裁など、実際の保育活動について意見交換をする。	○	○	○	10
	保育体験・保育園見学 【知識及び技能】 保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの講義で習ったことを活かしながら実際に子どもたちと関わる。	保育体験活動 レポート作成	【知識・技能】 保育者として5歳児の発達を学び、適切な関わり方を模索する。 【思考・判断・表現】 保育士による指示の出し方や整列方法、幼児との個別の関わりを観察し、今後の保育活動に活かす。 【主体的に学習に取り組む態度】 幼児と遊ぶだけでなく、保育者として積極的に声をかけ関わり、今後の活動に向けた考察をする。	○	○	○	24
2 学 期	保育計画 【知識及び技能】 これまでの幼児との関わりから、子どもたちの様子についてまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 発達やクラスの状況に応じた保育計画書を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育活動に必要な用具の準備、整方法や指示の出し方の確認ができる。	80分間の保育活動を4人一組となつて考える。 ・保育計画書の作成 ・保育活動に向けた準備 ・レポート作成	【知識・技能】 子どもの成長を促す遊びを考案する。 【思考・判断・表現】 動的、静的な保育活動を組み合わせ、順序だてて1単位時間分の計画書を作成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが保育者となることを想定して交流当日の動きを決定していく。	○	○	○	20
	保育交流活動 【知識及び技能】 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実際に子どもと触れあう機会や保育の様子の観察などを通じて、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深める。	保育交流活動リハーサルおよび本番 ・まとめレポートの作成	【知識・技能】 子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわったり観察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 保育者としての自覚を持ち、全体の動きを把握しながら適切な関わりができる。	○	○	○	15
	まとめ交流 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの交流から改善点を見出	まとめ交流会の実施 各班が短時間の遊びを準備し、全体で交流をする。	【思考・判断・表現】 保育実習の記録をまとめ、成果を発表することができる。				

3 学 期	し、最後の交流に向けた準備をする。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもたちの得意を伸ばす交流を考 案し実践する。		【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの集大成として反省点を活かした保 育活動ができる。		○	○	9
							合計
							78